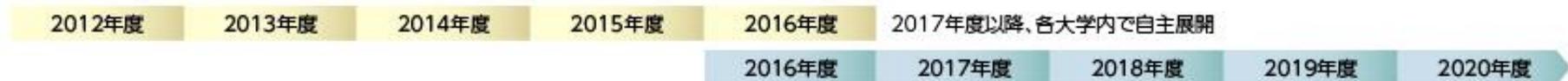


岩手県立大学ソフトウェア情報学部 H29年度 オリエンテーション

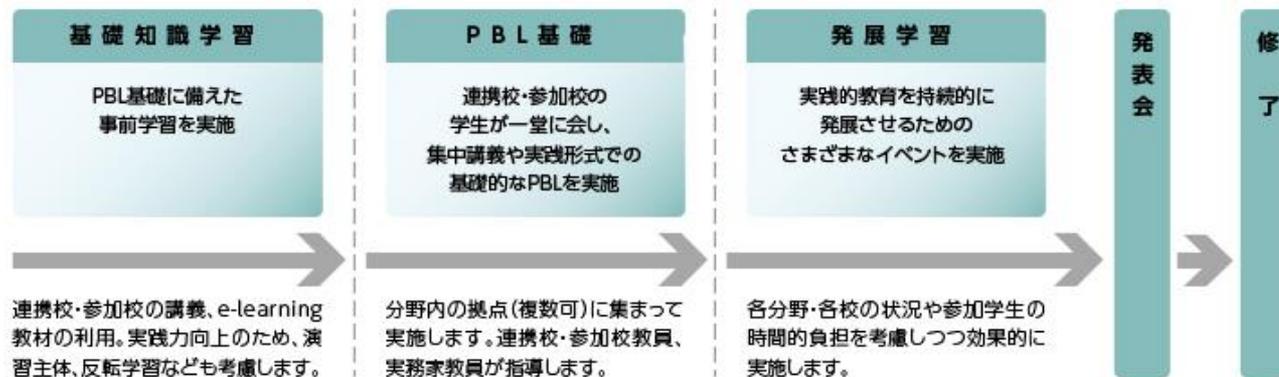
PBLとenPiT

- PBL (Project Based Learning) とは？
 - 課題解決型学習
 - アクティブラーニング (能動的学習)
 - 自ら問題を発見し解決していく能力を身に着ける学習
 - IT分野の実践的教育に有効
- enPiTとは？
 - 高度IT人材を育成する産学協働の実践教育ネットワーク
 - [文部科学省] 成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成
 - イノベーション人材育成
 - 実践的IT人材の育成

enPiTの概要



H29年度 enPiTカリキュラム概要



基礎知識学習

システムデザイン論(3年前期)

- 人間中心デザイン・フィールドワーク
 - ・外部講師(はこだて未来大学教員)
 - ・「馬っ子パークいわて」にて実施
- イノベーション
 - ・企業人と学内講師による講義
- 企業人を招いたワークショップの実施
 - ・デジタル技術
 - ・オープン・イノベーション
 - ・人工知能
 - ・次世代モビリティ

PBL基礎

システムデザイン実践論(3年前期集中)

- 課題に対してアイデアを提案
 - ・「馬っこパークいわて」を対象に提案
 - ・参加企業の技術を用いて学生がデザイン
 - 地域企業と学生でアプリを製作
 - ・システムエンジニアと学生で共同作業
 - ・設計から製作の一連の流れを体験
- 1日目 フィールドワーク
2日目 デザインワークショップ
3日目 実践プログラミング(1)
4日目 実践プログラミング(2)
5日目 成果発表会

発展学習

PBL(課外)

- 学生によるシステム提案・構築
 - ・テーマは自由
 - ・備品購入を予算支援
- 大学院生と学部3・4年生が混成チーム
 - ・参加大学の学生も参加
- 連携企業による企業アドバイザー制度
 - ・月に一度の打ち合わせ実施
- 中間報告会・最終報告会を実施
 - ・他高等教育機関と合同開催

システムデザイン論（基礎知識学習）（2/2）

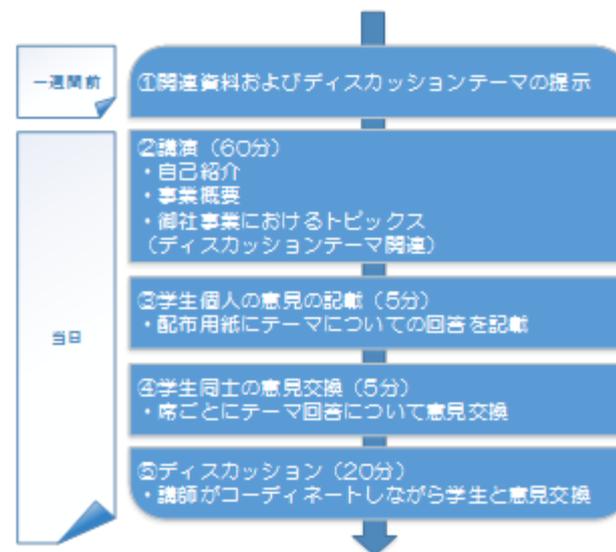
人間中心デザイン・フィールドワーク

- 場所：馬っこパークいわて
- 内容：
 - 人間中心デザインの基礎知識習得
 - 馬っこパークのフィールド調査
 - 人間中心デザイン手法による現状分析
 - 馬っこパークにおける新たなサービス提案
 - 提案内容の発表



● システムデザインワークショップ

- 内容：
 - 4名の企業人講師によるオムニバス
 - 各企業の最新トピックスに関して講演
 - 内容をもとにディスカッション



システムデザイン実践論 (PBL基礎) (1/2)

● 内容

- 企業の保有技術を用いて企業人と学生の合同チームで企画から実装までの一連の流れを体験
 - ICT/IoTを用いたイノベーション創出
 - 人間中心デザインを取り入れた「問題発見」「課題解決」

● テーマ

- 馬っこパークを対象としたシステム提案
 - IoT技術を用いたアプリ開発：(株)イーアールアイ
 - ペッパーを利用した案内システム：東京システムズ(株)
 - Webフレームワークを用いたWeb制作：日本ライフレイ(株)
 - 観光周遊アプリの提供：(株)ピーぷる

システムデザイン実践論 (PBL基礎) (2/2)

● 場所

- 滝沢市IPUイノベーションセンターおよび馬っこパーク

● 日程

- 8/24 (木) フィールドワーク
 - 企業の保有技術の紹介
 - 馬っこパークにてフィールドワーク
 - BS/KJ法/SSによるアイデア出し
 - アイデアのスケッチ作成
 - 各チームのテーマ決定
 - グループ分け
- 8/25 (金) デザインワークショップ
 - 各チームごとに提案システムの仕様決定
 - システム設計
 - 開発スケジュール・分担表の作成
 - 提案システムの進捗報告
- 8/28 (月) 実践プログラミング (1)
 - 各チームごとにわかれたシステム開発
 - 実践プログラミング・進捗報告 (1)
- 8/29 (火) 実践プログラミング (2)
 - 各チームごとにわかれたシステム開発
 - 実践プログラミング・進捗報告 (2)
- 8/30 (水) 成果発表会
 - 発表準備
 - デモ準備
 - スライド作成
 - 成果発表会
 - 4チーム×10分

課外PBL（発展学習）

(1/2)

● 内容

- 学生の自主的創造活動を促進するためにプロジェクトを支援するプログラム
 - 学生によるシステム提案・構築
 - テーマは自由
 - 購入備品を予算支援
 - 大学院および学部生の混成チームで実施
 - 大学・学年・講座をまたがったチームを推奨
 - 本学学生は1年次より参加可能
 - 大学院生は本年度より単位化
 - 連携企業による企業アドバイザー制度
 - アドバイザと打ち合わせ（月一回）
 - 中間報告会（10月）および成果発表会（1月）の開催

課外PBL（発展学習） (2/2)

- ガイダンス（場所：マルチメディアラボ）
 - 4月13日（木・3）enPiTのガイダンス（システムデザイン論）
 - 4月19日（水・4）課外PBLを中心としたガイダンス

Step	内容	日程
1	公募開始	平成 29 年 5 月上旬
2	【PBL 申請書】提出（プロジェクト代表者）	平成 29 年 5 月下旬
3	プロジェクト代表者に【PBL 評価シート】を通知 (プロジェクトが承認された時点から PBL 実施開始)	平成 29 年 6 月
4	物品貸出および新規物品購入手続き	平成 29 年 6 月
5	第一回 企業アドバイザーとの打ち合わせ	平成 29 年 10 月中旬
6	中間発表会で発表し【中間発表会報告書】を提出	平成 29 年 11 月中旬予定
7	第二回 企業アドバイザーとの打ち合わせ	平成 29 年 12 月中旬
8	第三回 企業アドバイザーとの打ち合わせ	平成 30 年 1 月中旬
7	成果発表会で発表	平成 30 年 1 月下旬
8	【PBL 報告書】【PBL 成果発表会報告書】提出 (プロジェクト代表者)	平成 30 年 2 月上旬
9	PBL 物品を返却	平成 30 年 2 月中旬

本学学生の受講について

- 1・2年生
 - システムデザイン論 × (総論・英語実践演習Ⅲ)
 - 人間中心デザイン・フィールワーク ○ (本学enPiT・Webから申し込み)
 - システムデザイン実践論 ○ (本学enPiT・Webから申し込み)
 - 課外PBL ○ (PBL申請書の提出)
- 3・4年生
 - システムデザイン論 ○ (履修登録)
 - システムデザイン実践論 ○ (履修登録)
 - 課外PBL ○ (PBL申請書の提出)
- 大学院生
 - システムデザイン論 ○ (本学enPiT・Webから申し込み)
 - システムデザイン実践論 ○ (本学enPiT・Webから申し込み)
 - プロジェクト実践演習 (課外PBL) ○ (履修登録およびPBL申請書の提出)

参加大学の受講について

- 基礎学習（システムデザイン論）
 - 人間中心デザイン・フィールドワーク（5/27）への参加推奨
 - 他の講義については単位読み替えまたは遠隔会議システムで参加
 - 遠隔会議システムのPCについては本学から貸与
- PBL基礎（システムデザイン実践論）
 - システムデザイン実践論への参加
 - 交通費・宿泊費については本学から支給
 - 必要に応じてインターンシップなどへ単位読み替え
- 発展学習（課外PBL）
 - 各大学で実施
 - 1月下旬の成果発表会を共同開催